

東北を元気にしよう。
日本を明るく照らそう。
生きること、生き続けることの先には、
必ず希望や喜びがある。

たかが花火、されど花火。
天に上がり、ポンと消える火の玉。

ぼくたち日本人の祖先信仰と無常観をこれほど
よく表しているものはない。
とりわけ愛するものを亡くしたあと、それは特別胸に刺さる。

坂本龍一 RYUICHI SAKAMOTO



2011年3月11日に起きた東日本大震災。未曾有の地震と津波による甚大な被害を目の前に、日本中の誰もが下を向き、これから日本がどうなっていくのか不安を抱いていた時、ひたすら上を向いて歩き続けた男がいた。

絶対に不可能と思われた、東北太平洋沿岸10ヵ所での花火同時打ち上げ。それを可能にしたのは、たった一人の男の情熱と、「いつまでも下を向いてはいられない」と立ち上がった現地の人々の生きる力だった。密着900時間の映像をもとに描かれる、情熱と真実のドキュメンタリー！たくさんの人の想い、祈り、希望、夢が詰まった奇跡の花火が、スクリーンに打ち上がる。



LIGHT UP NIPPONとは

ある一人の会社員が「震災で中止になった東京湾花火大会の花火って、どうなるんだろう？」と疑問を抱いたことで始まったこのプロジェクトは、“東北を、日本を、花火で、元気に。”をスローガンに、2011年8月11日、地元の人々の協力のもと、東北の太平洋沿岸10ヵ所で一斉に花火を打上げました。

詳しくは公式ホームページ：<http://lightupnippon.jp> をご覧ください。

高田 佳岳 (たかだ よしたけ)
1977年5月6日生



東京水産大学に進学。20歳でスキューバダイビングのインストラクターになり、プロとして活動。大学院で東京大学海洋研究所に進学し、岩手県大槌町の研究センターに所属。2005年、日本特有の「サラリーマン経験」を積むために大手広告代理店に就職。2011年3月11日。大学院時代に過ごした大槌も津波に飲み込まれ、町は壊滅状態。古い仲間、お世話になったみんなのことが気に係り、自分にできることを必死で考えた。そのうち、「自分にしかできないこと」を探そうとなり、エンターテインメント、プロモーションのプロとして、思いついたのが、LIGHT UP NIPPON (<http://lightupnippon.jp/>)。

海と会社とLIGHT UP NIPPONでの経験や繋がりを活かし、東北と東京をつなげる仕掛けや、海を通した自然教育などをを行いながら、東北での活動を続けている。

現在 一般社団法人 LIGHT UP NIPPON 代表理事

映画：LIGHT UP NIPPON ～日本を照らした奇跡の花火～

著書：LIGHT UP NIPPON 被災地の空に花を咲かせた日 (竹書房)

チケット販売先
6月2日(月)より販売開始

- カネトク酒市場
- 大仙市役所商工観光課
- 大仙市観光情報センター (大曲駅2F)

下記は平日のみの販売となります

- 大曲商工会議所
- 大仙市役所商工観光課
- 大仙市観光物産協会 (花火庵)
- Anbee 2F
- 大仙市民活動交流拠点センター内

内容

だいせん大曲フィルムコミッション チャリティ上映会

LIGHT UP NIPPON -日本を照らした奇跡の花火-

17:30 開場

18:05~18:45 講演会
※LIGHT UP NIPPON 代表 高田佳岳氏

18:50~20:30 上映会

日時：平成26年6月27日(金) 18:00~
(17:30から入場可)

場所：大仙市大曲市民会館 小ホール
大仙市日の出町2-6-50 TEL0187-63-8766

料金：中学生以上 前売り1,000円 当日1,200円
小学生以下 無料

※チケット販売による収益の一部を被災地に寄付致します。

主催：だいせん大曲フィルムコミッション 共催：大仙市・大曲商工会議所 後援：大仙市教育委員会

問い合わせ

だいせん大曲フィルムコミッション事務局 TEL 0187-62-1262 (大曲商工会議所内)

大仙市役所農林商工部商工観光課FC担当 TEL 0187-63-1111